

文化に対する意識についてのアンケート調査結果

調査時期：平成19年（2007年）10月

対象者：県政モニター300人

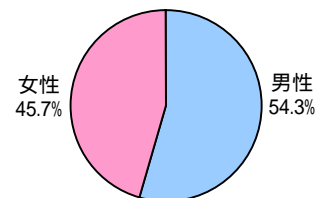
回答者：233人（回収率 77.0%）

担当課：県民文化課

調査目的 県では平成18年10月に文化活動者や公募委員らから成る「滋賀らしい文化芸術振興のあり方検討委員会」を設置し、約1年間議論を重ねてきました。そして、平成19年9月に「滋賀の文化振興のあり方」報告書が知事へ提言されました。県では、この提言を受けて条例の制定について検討を進めることにしておりますが、この検討の参考にさせていただくため、「文化に対する意識」についてアンケート調査を実施しました。

Q1 性別

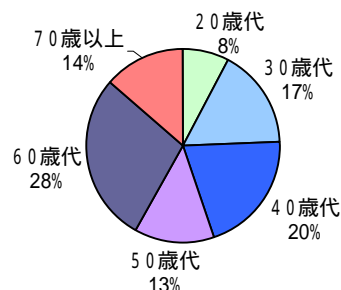
1	男性	126人
2	女性	106人



不明・無回答者	1人	有効回答者	232人
---------	----	-------	------

Q2 年齢

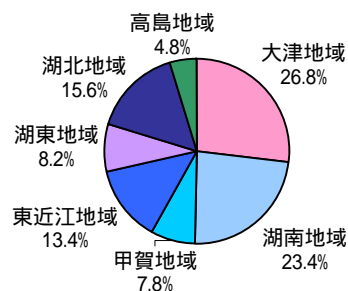
1	20歳代	18人
2	30歳代	39人
3	40歳代	47人
4	50歳代	31人
5	60歳代	66人
6	70歳代以上	32人



不明・無回答者	0人	有効回答者	233人
---------	----	-------	------

Q3 お住まいの地域名

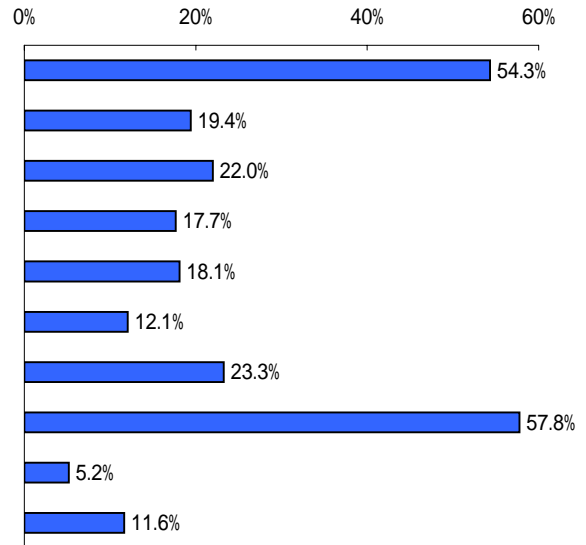
1	大津地域	62人
2	湖南地域	54人
3	甲賀地域	18人
4	東近江地域	31人
5	湖東地域	19人
6	湖北地域	36人
7	高島地域	11人



不明・無回答者	2人	有効回答者	231人
---------	----	-------	------

Q4 この1年間に鑑賞した芸術文化のジャンル（複数回答）

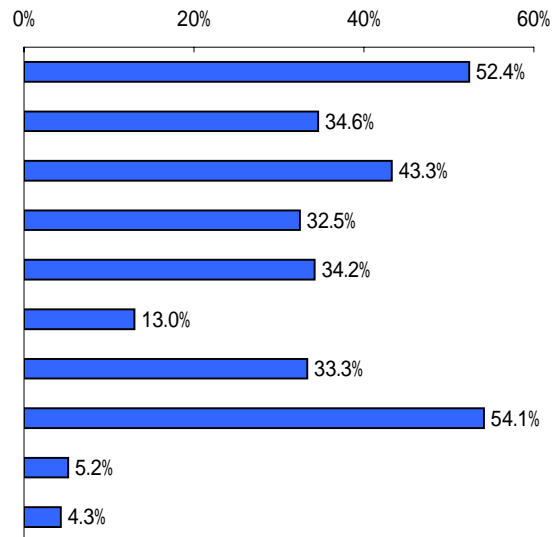
1	映画	126人
2	クラシック音楽、オペラ	45人
3	ミュージカル、演劇	51人
4	演芸 （落語、漫才、浪曲等）	41人
5	伝統芸能 （歌舞伎、文楽、能楽、狂言、民謡等）	42人
6	舞踊 （バレエ、ダンス、日本舞踊、民族舞踊等）	28人
7	軽音楽 （ジャズ、ロック、ポップス、歌謡曲等）	54人
8	美術 （絵画、彫刻、写真、書、工芸等）	134人
9	その他	12人
10	特になし	27人



不明・無回答者	1人	有効回答者	232人
---------	----	-------	------

Q5 今後鑑賞してみたい芸術文化のジャンル（複数回答）

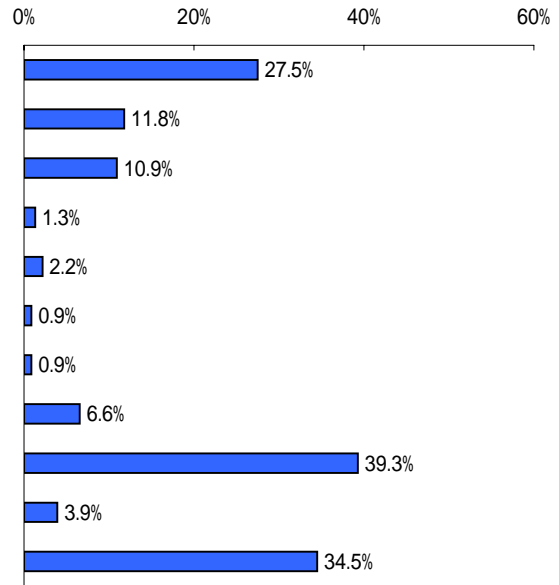
1	映画	121人
2	クラシック音楽、オペラ	80人
3	ミュージカル、演劇	100人
4	演芸 （落語、漫才、浪曲等）	75人
5	伝統芸能 （歌舞伎、文楽、能楽、狂言、民謡等）	79人
6	舞踊 （バレエ、ダンス、日本舞踊、民族舞踊等）	30人
7	軽音楽 （ジャズ、ロック、ポップス、歌謡曲等）	77人
8	美術 （絵画、彫刻、写真、書、工芸等）	125人
9	その他	12人
10	特になし	10人



不明・無回答者	2人	有効回答者	231人
---------	----	-------	------

Q 6 この1年間にした文化創作活動（複数回答）

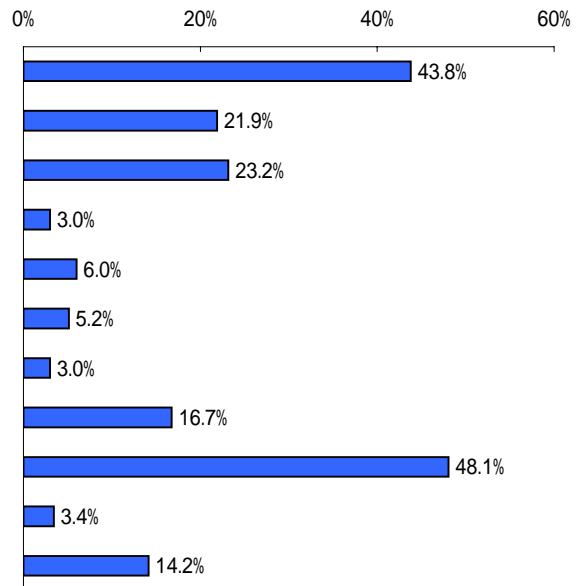
1	絵画、彫刻、写真、書、工芸等美術の創作活動	63人
2	小説、詩、俳句、随筆等の文芸活動	27人
3	歌唱、楽器の演奏、作曲等の音楽活動	25人
4	ミュージカル、現代劇等の演劇活動	3人
5	バレエ、ダンス、日本舞踊、民族舞踊等の舞踊	5人
6	歌舞伎、文楽、能楽、狂言、民謡等の伝統芸能	2人
7	落語、漫才、浪曲等の演芸	2人
8	茶道、華道	15人
9	歴史探訪や伝統行事への参加	90人
10	その他	9人
11	特になし	79人



不明・無回答者	4人	有効回答者	229人
---------	----	-------	------

Q 7 今後してみたい文化創作活動（複数回答）

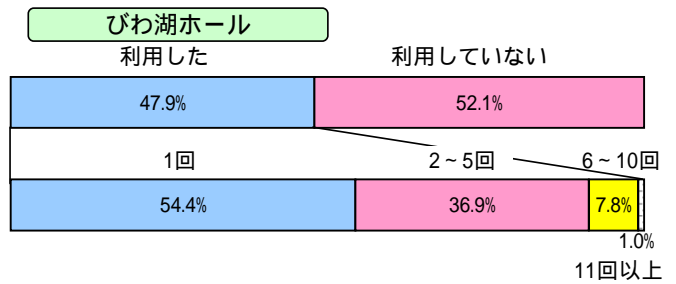
1	絵画、彫刻、写真、書、工芸等美術の創作活動	102人
2	小説、詩、俳句、随筆等の文芸活動	51人
3	歌唱、楽器の演奏、作曲等の音楽活動	54人
4	ミュージカル、現代劇等の演劇活動	7人
5	バレエ、ダンス、日本舞踊、民族舞踊等の舞踊	14人
6	歌舞伎、文楽、能楽、狂言、民謡等の伝統芸能	12人
7	落語、漫才、浪曲等の演芸	7人
8	茶道、華道	39人
9	歴史探訪や伝統行事への参加	112人
10	その他	8人
11	特になし	33人



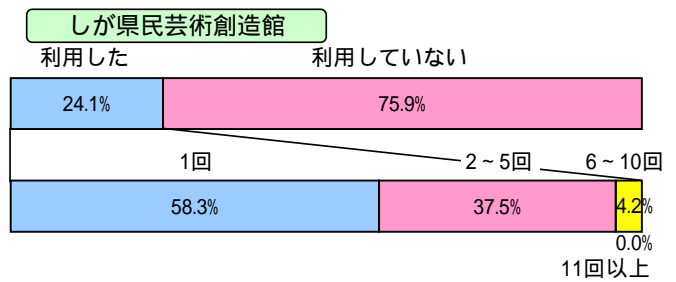
不明・無回答者	0人	有効回答者	233人
---------	----	-------	------

Q 8 過去3年以内に芸術文化の鑑賞の場として利用した回数

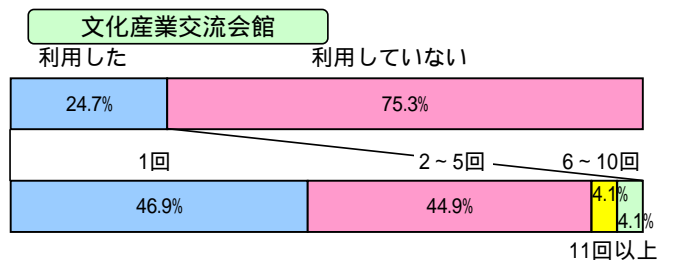
びわ湖ホール	利用した	103人	
	1回	56人	
	2～5回	38人	
	6～10回	8人	
	11回以上	1人	
利用していない	112人		
不明・無回答者	18人	有効回答者	215人



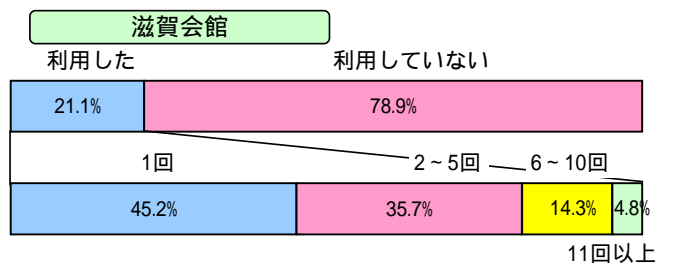
しが県民芸術創造館	利用した	48人	
	1回	28人	
	2～5回	18人	
	6～10回	2人	
	11回以上	0人	
利用していない	151人		
不明・無回答者	34人	有効回答者	199人



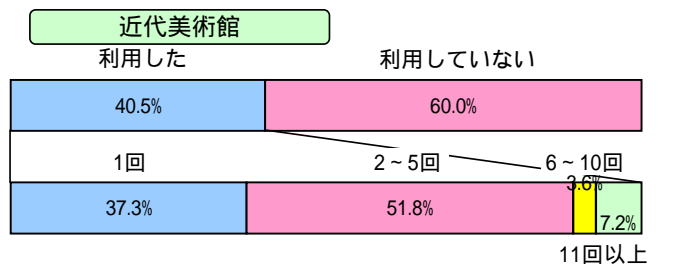
文化産業交流会館	利用した	49人	
	1回	23人	
	2～5回	22人	
	6～10回	2人	
	11回以上	2人	
利用していない	149人		
不明・無回答者	35人	有効回答者	198人



滋賀会館	利用した	42人	
	1回	19人	
	2～5回	15人	
	6～10回	6人	
	11回以上	2人	
利用していない	157人		
不明・無回答者	34人	有効回答者	199人



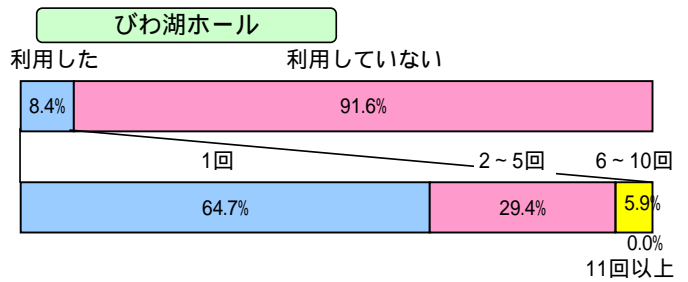
近代美術館	利用した	83人	
	1回	31人	
	2～5回	43人	
	6～10回	3人	
	11回以上	6人	
利用していない	123人		
不明・無回答者	28人	有効回答者	205人



Q9 過去3年以内に文化創作活動の練習の場として利用した回数

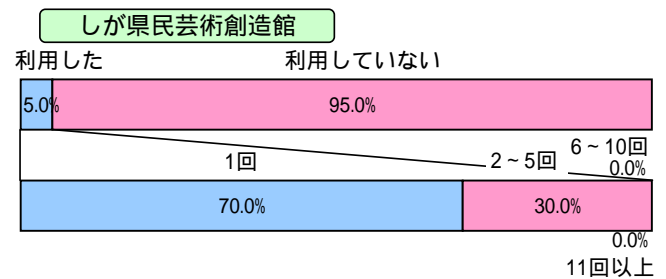
びわ湖ホール	利用した	17人
	1回	11人
	2～5回	5人
	6～10回	1人
	11回以上	0人
利用していない		185人

不明・無回答者	31人	有効回答者	202人
---------	-----	-------	------



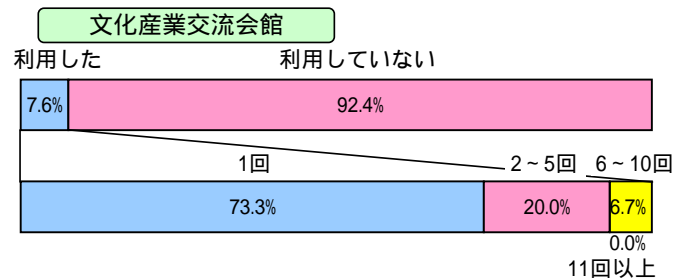
しが県民芸術創造館	利用した	10人
	1回	7人
	2～5回	3人
	6～10回	0人
	11回以上	0人
利用していない		190人

不明・無回答者	33人	有効回答者	200人
---------	-----	-------	------



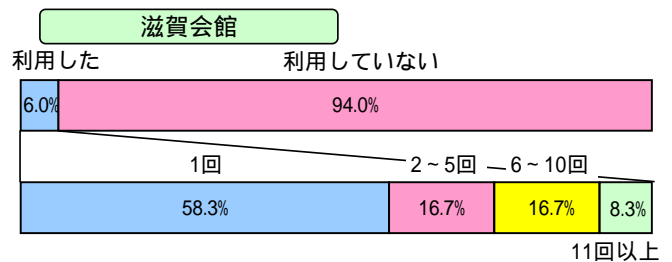
文化産業交流会館	利用した	15人
	1回	11人
	2～5回	3人
	6～10回	1人
	11回以上	0人
利用していない		183人

不明・無回答者	35人	有効回答者	198人
---------	-----	-------	------



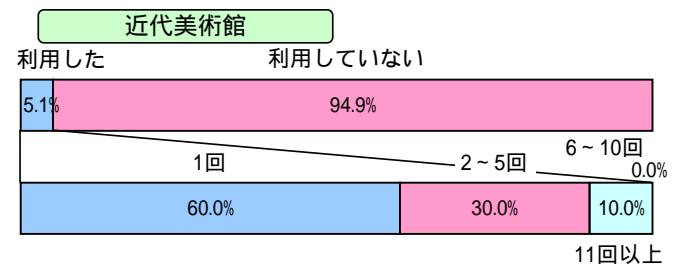
滋賀会館	利用した	12人
	1回	7人
	2～5回	2人
	6～10回	2人
	11回以上	1人
利用していない		188人

不明・無回答者	33人	有効回答者	200人
---------	-----	-------	------



近代美術館	利用した	10人
	1回	6人
	2～5回	3人
	6～10回	0人
	11回以上	1人
利用していない		185人

不明・無回答者	38人	有効回答者	195人
---------	-----	-------	------



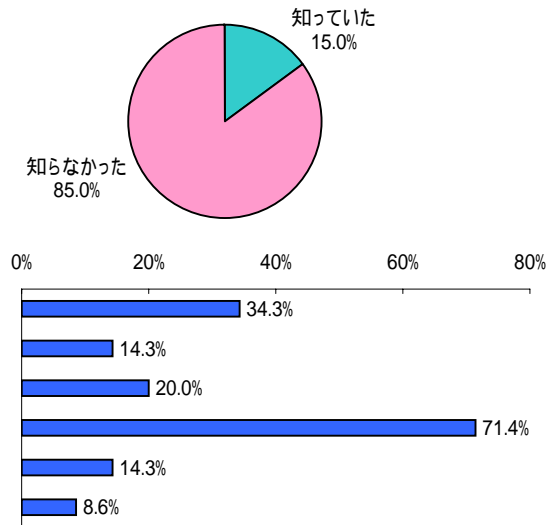
Q10

「滋賀らしい文化芸術振興のあり方検討委員会」を設置し、文化振興について検討がされていたことを知っておられましたか。また何でお知りになりましたか。

1	知っていた	35人
2	知らなかった	198人

不明・無回答者	0人	有効回答者	233人
---------	----	-------	------

知った媒体 (複数回答)	ア	新聞	12人
	イ	テレビ	5人
	ウ	県ホームページ	7人
	エ	県広報誌	25人
	オ	知人	5人
	カ	その他	3人

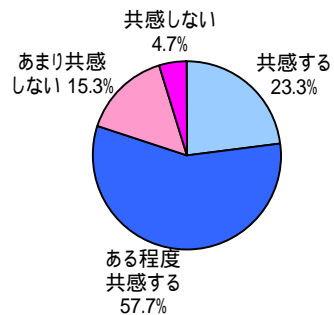


Q11

「滋賀の文化振興のあり方」報告書の内容についてどう思われますか。

1	共感する	50人
2	ある程度共感する	123人
3	あまり共感しない	33人
4	共感しない	10人

不明・無回答者	18人	有効回答者	215人
---------	-----	-------	------



上記理由等の主な意見<自由記述>

【全体】

- ・全内容が網羅されている。この施策の実効性が大事で、この報告書に従って即刻進めて行くべきだ。
- ・文化振興はいつの時代でもインフラの基本であり、その点で当報告書は適切である。
- ・現状の資金・財政基盤の把握が十分されてなく、経済的な裏付けが示されていない点が気になる。
- ・日常生活に追われている人々の中に文化をどのように具体化し意識させていくかの方向性がほしい。
- ・理想的な報告書だが今後県民レベルでどのように生かされていくかが課題。
- ・全国画一的な文化芸術でなく、滋賀固有の文化を保全・再生・創出しようという姿勢に共感する。
- ・誰もがやりたいことをやり、それを助けることが文化振興なのか。上質・本物を見極めているか疑問。
- ・文化の範囲が狭い気がする。

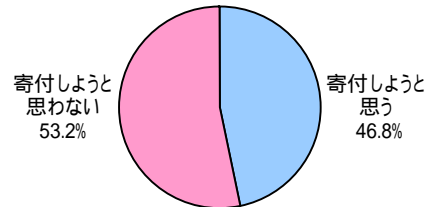
【個別】

- ・「将来像」は、言われてみれば至極当然な事であるが、再認識させられる意義は大きい。
- ・「基本理念」は個から世界まで考えられており共感する。
- ・「県と市町の役割」が明確でない。県が推進する文化と地域に浸透している文化にギャップがある。
- ・質量ともに誇るべき文化財や湖国ならではの風景を守り育て、次の世代に引き継ぐことは大切なこと。
- ・県立文化施設については、利用者の視点から使命の根本的な問い直しなどを行うべき。
- ・大人になってからの文化活動は敷居が高いが、小さな頃から文化に触れる機会があれば良い。

- ・民間ノウハウを活用する新たな仕組み構築に取り組む姿勢に共感する。
- ・寄付等に頼るのではなく、県職員の意識改革を図り、税金の中で工夫することを期待している。
- ・「旗印」と「仕組み」として条例を制定する必要があることに共感する。
- ・文化振興に条例はそぐわない。文化は形にはめ命令するものではなく、自然に湧き出てくるもの。

Q12 県民の皆さんから寄付を募り基金等を積み立てる場合、どのような目的（施策）に使うのであれば寄付してもよいと思われませんか。

1	下記の目的に使うのであれば寄付しようと思う	101人
2	そのような基金等に寄付しようと思わない	115人



不明・無回答者	17人	有効回答者	216人
---------	-----	-------	------

上記1の目的（施策）の主な意見<自由記述>

【過去から受け継がれてきた文化の中で人が暮らし、育つ環境づくり】

- ・文化財の調査・保存管理等、特別史跡等の調査・整備
- ・指定文化財の所有者が行う保存修理、伝統文化の継承、後継者育成等、支援の対象が個人レベルのもの
- ・地域にぜひ残しておきたい文化で、資金難で維持できず消えつつあるものへの補助、維持費など
- ・図書館における暮らしに関する文化の資料保存、展示
- ・滋賀の伝統的な食文化の継承活動や情報提供
- ・魅力的な風景の保全。風景は私たちの生活で一番身近なものであるから

【人が多様な文化を享受できる魅力的な空間・環境づくり】

- ・より多くの県民が多様な文化芸術を鑑賞したり施設を利用したりできる機会を拡大するもの
- ・海外や東京でしか見られない演奏会、美術展等。遠方へ行く時間とお金と考えれば寄付しても良い。
- ・自分の住んでいる地域の文化施設の催しの充実
- ・びわ湖ホール声楽アンサンブル
- ・文化活動の場の充実。文化活動への助成
- ・まちおこしに貢献するのであれば賛成
- ・消費者の感性に訴える商品・サービスを生み出そうとする地域中小企業への支援
- ・高齢者の生きがいづくり

【未来へ向けて感性豊かな人が育つ環境づくり】

- ・文化施設における青少年（高齢者）料金の設定
- ・次世代の文化活動を充実させるような取り組み
- ・学校教育における文化活動の充実
- ・保育園、幼稚園、小中高の教育充実、ボランティア活動の推進。図書館の充実等教育に関する施策
- ・中高校等の文化系部活動で、まちづくりや文化的景観を守ることに貢献してくれるようなもの
- ・学習船「うみのこ」のような文化体験プログラムの創設
- ・指導者を滋賀に招くことや、遊学・留学の費用補助など

【その他】

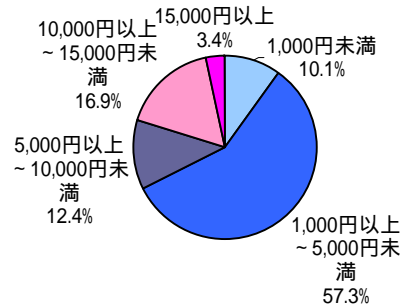
- ・ホール、美術館の入場料などから何%か徴収すればどうか
- ・県民より企業からの寄付に望みを持つべき。
- ・しっかりとした目的と、後の報告があるのなら寄付する価値がある。
- ・個人の寄付に限定せず、自治会単位で寄付を募集して地域ぐるみでやると良い。
- ・施設の維持運営費や職員の給与に使われないことがないと明言されるならば良い。
- ・県の施策には余程のことでなければ寄付しようとは思わない。自分の町のことであれば考えても良い。
- ・行政間の連携、県民等の意見の反映

Q13

Q9で寄付しようと思われる方は、年間どれくらいの金額なら寄付してもよいと思われませんか。(円/年)

1	1,000円未満 (100円 2人/300円 2人/500円 4人)	9人
2	1,000円以上～5,000円未満 (1000円 29人/2000円 9人/2400円 1人/3000円 12人)	51人
3	5,000円以上～10,000円未満 (5000円 11人)	11人
4	10,000円以上～15,000円未満 (10000円 14人/12000円 1人)	15人
5	15,000円以上 (30000円 1人/50000円 1人/120000円 1人)	3人

不明・無回答者	12人	有効回答者	89人
---------	-----	-------	-----

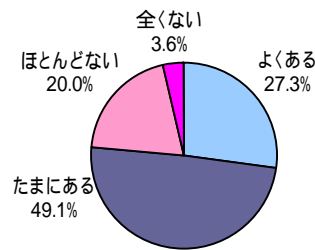


Q14

文化によって勇気づけられたり癒されたりしたことがありますか。

1	よくある	60人
2	たまにある	108人
3	ほとんどない	44人
4	全くない	8人

不明・無回答者	13人	有効回答者	220人
---------	-----	-------	------

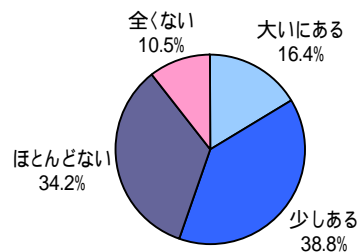


Q15

あなた自身が滋賀の文化を育むことに貢献しているという意識はありますか。

1	大いにある	36人
2	少しある	85人
3	ほとんどない	75人
4	全くない	23人

不明・無回答者	14人	有効回答者	219人
---------	-----	-------	------



Q16

その他、文化振興のあり方についてのご要望やご意見等ありましたらお聞かせください。
(自由記述) <主な意見>

【文化振興の意義など】

- ・ 県民の賛同を得て独自で固有な文化を未来に継承してほしい。
- ・ 厳しい財政事情の中で、すぐに効果が出にくい文化事業を削られるのではないかと心配。
- ・ より豊かな社会になるため文化にこそ投資すべき。心豊かな子どもが育つように長い目で見てほしい。
- ・ 文化は民間で受け継がれる部分が多く、財政難の今は最小限に凍結してはどうか。
- ・ 文化活動が活性化すれば、人が集まり雇用が生まれ県の財政や経済にも貢献する。
- ・ 普通の生活で目一杯。経済的に豊かでなければ文化をどうするかという思いは湧いてこない。
- ・ 文化を継承・発展させるには人材育成が大切。
- ・ 心豊かな生活を求める人、与える側双方を繋ぎあわせ手を差し伸べることが文化振興の今後の役割
- ・ 山間部など交通の不便な所など、どこでも等しく文化を享受できる環境づくりに期待する。
- ・ 今まで県主導で文化振興が進められてきたが、もっと県民のニーズを集約し県民主体で取り組むべき。
- ・ 県と市町との文化振興策がバラバラであり、県全体で統一された文化振興策を望む。
- ・ 県レベルではなく、市町・学区レベルであれば地域性も鮮明になり文化に親しみやすい。
- ・ 寄付や税金アップに頼ることなく、今ある財源の中でどうやりくりするかも県職員の工夫次第。
- ・ 民間企業等の文化振興への関与、資金援助等は大いに奨励してほしい。
- ・ 文化振興には時間もお金も必要。その恩恵は後世の子孫が受けるので、腹を決めて戦略的に行うべき。
- ・ 報告書にあるような方向へ県民の意識が変化していくことを願う。
- ・ 報告書の受け取りは活動へのスタートである。今後県は何をしたか結果を知らせる必要がある。

【過去から受け継がれてきた文化の中で人が暮らし、育つ環境づくり】

- ・ やめればよいでは済まされない行事・伝統が多いが、高齢化・継承者の人材不足などの課題が多い。
- ・ 県には文化財が多いが、京都・奈良と比べ観光客も少なく、もっと気軽に行けるように工夫すべき。
- ・ 農業の後継者不足は深刻。寺や神社の祭事も継続できるよう若者が定着できる文化振興を望む。
- ・ 県の文化遺産、現代文化等あらゆる分野の文化を調査・検証し、文献として遺してPRすべき。

【人が多様な文化を享受できる魅力的な空間・環境づくり】

- ・ びわ湖ホールを月1回ぐらいいは低料金にして、多くの県民が利用できるようにしてほしい。
- ・ 鑑賞したくても入場料が高くて鑑賞できない人が少しでも減るように入場料は抑えてほしい。
- ・ 文化は経済性や効率性を重要視してはならない。施設の指定管理者制度の導入にも疑問を持つ。
- ・ 文化施設は指定管理の問題もあるが、維持管理が特に大変であり最大の課題である。
- ・ 滋賀会館や琵琶湖文化館を休閉館することは報告書に反するのではないか。
- ・ 滋賀会館や琵琶湖文化館は老朽化や類似施設で代替可能なことから施設の休廃止には賛成。
- ・ 伝統文化やクラシックなど一部の人しか興味のない催しより一般的で肩ひじの張らないことに注力すべき。
- ・ 福祉分野との連携は障害者や高齢者の心のゆとり等に関わり大いに必要。

【未来へ向けて感性豊かな人が育つ環境づくり】

- ・ 若者をターゲットにした事業をもっと実施してほしい。若い人の力で滋賀県を良くしてもらいたい。
- ・ 出産・子育て世代が文化に触れられるよう、もっと子連れ可能な環境や子供向けの催しをしてほしい。
- ・ 子ども達の美術館、博物館などの入場料を低価格にしてほしい。
- ・ 地域の文化を小さい頃から大切にしていける教育を家庭や小中学校でもっと取り組んでほしい。
- ・ 小中学校に空き教室が見受けられるが、芸術の制作や発表など安価に利用できないか。
- ・ 自らお金を出して文化活動をしている個人が多く、こういう活動への支援を強めたら良い。
- ・ 県内在住のアーティストは多いと思うので、名簿を整備しコンサート等を通じ広く県民へ紹介してほしい。
- ・ 優れた文化活動をしている個人や団体に奨励金を出すことは賛成。
- ・ 文化振興は多くのボランティアが必要。ボランティアの体制作りや活かし方などが課題。
- ・ 地域とアーティストの間をコーディネートできる人材を県内各地に増やすことで、まちも文化も元気になる。